



Weekly Report

NO.1209 平成 25 年 11 月 26 日

小諸浅間ロータリークラブ

例会日/週火曜日 12:30~13:30 例会場/小諸市鶴巻 音羽
事務局/〒384-0025 長野県小諸市相生町 1-2-12 エイワンビル 2 階
TEL 0267-23-8125 FAX 0267-23-2788

2013-2014 役員

会 長 / 小林 秋生 副 会 長 / 渡辺 文夫
幹 事 / 清水 良英 広報・情報委員長 / 矢島 栄一

ロータリーを实践し みんなに豊かな人生を
2013-14年度 浅間ロータリークラブ



点鐘	小林 秋生 会長
SAA	桑原 邦夫 委員
ソング	それこそロータリー
ゲスト	佐藤美代子様(小諸観光ガイド協会)

【会長挨拶】 小林秋生 会長

ご家族参加の京都旅行、楽しく無事に行き参りました。本年の京都は気候の加減で、ピークにはすこし早目な感じがありましたが、それでも名所で仲々美しい紅葉でございました。一両日とも、お天気は上々で、行楽の予定通り訪ね廻ることが出来ました。京都は流石に世界の名所だけあって外国人の観光客も多く、特に韓国・中国からの皆さんが多勢でありました。皆さん、少数の旅行者ではなく、20~30名ほどの団体が多く、寺院見学の入場を前に列を成している姿は、日本人のそれと殆ど変わらず、見分はつきません。しかし、聞えて来る会話のイントネーションは、それぞれ隣国の方々であることはすぐ解ります。私は20年くらい前からあちこちの隣国を何回も訪れる機会がありましたが、特にこの10年の始めと比べると、隣国市民の文化的(経済的にも)発展のスピードは眼を見張るものがあります。

今、盛んに日本各地を観光に訪れる中国の方々は、10年前、今の日本を旅行するなど考えが及ばなかったと思います。昨日も中国政府は一方的な防空識別圏の設定を発表しました。このように政治の上では、領空、領海の摩擦が報じられ、日中双方の外交では大変な状況にあるのが現実です。昨年の反日暴動も、多分政策的要素が主因であると思われるが、短期間で治まり、今は日本車も以前より売れており、中国からの旅行者の多さが示すように、日本でも、中国でも民間レベルでは、政治的リスクをあまり感じておらないようです。かつて、ソ連とアメリカの冷戦時代、両国市民の若者の対話集会がテレビで報じられたことがありました。多分、ソ連は政治的なやらせ要素が見えておりましたが、しかし、この事とゴルバチョフ氏のサッチャー会談など政治改革的なイデオロギーがきっかけとなって、大歴史的な社会主義の崩壊が起りました。

私は、もっと隣国民同志の市民的交流を政治が理解すべきであり、日本も中国も、その辺の発揚(はつよう)がメディア的にもとても足りないと思っています。政治的にも経済的にもロータリーの精神は関知致しません。しかし文化的には、世界を動かすこともあるかも知れません。この次のロータリーの旅行は中国でも韓国でも、もう一度隣国を見に行っても良いのではないかと声もあります。世界民族の融合は国民・市民の交流が起すものだと言う事を忘れてはなりません。ロータリーには、そう言う役目もあるのではないかと。すこしオーバーな議論ですかね。本日のご挨拶と致します。

【幹事報告】 清水 良英 幹事

- 第4回日台ロータリー親善会議について
日時 1月26日(日)14:00~20:30
会場 台湾(台北)圓山大飯店
登録料 会員 15,000円 家族 10,000円
- 小諸高校より第17回卒業生演奏会について
日時 12月1日(日)
開場 10:30 開演 11:00
会場 小諸市文化会館
- 小諸商工会議所より退任、就任挨拶状及び事務所移転について
- 例会变更
軽井沢RC
12月2日(月)例会場変更の為
定刻受付なし
12月16日(月)クリスマス夜間例会の為
定刻受付あり
12月23日(月)法定休日の為休会
定刻受付なし
12月30日(月)定款による休会
定刻受付なし
1月6日(月)新春夜間例会の為
定刻受付あり
蓼科RC
12月18日(水)日時の変更
定刻受付あり
12月25日(水)定款による休会
定刻受付なし

両川 栄 君

【委員会報告】

クラブ運営委員会 依田晋一郎 委員長
[家族親睦旅行の御礼]

ニコBOX 湯本 敏晴 委員

小林秋生君	ご家族参加の親睦旅行、無事行って参りました。京都の紅葉がとても美しい静かな旅でした。ご準備戴いた委員会の皆さんありがとうございました。
黒田説成君	この度の受賞に際しては、皆様のご祝意をいただき、ありがとうございました。来る6日の祝賀会、感謝いたします。

橋詰希望君	小諸観光ガイド協会、佐藤美代子様、本日はよろしく願いいたします。
前田博志君	京都からおかえりなさい！
両川 栄君	ラッキー賞ありがとうございました。
西川 宏君	11月3日の結婚祝い、ありがとうございました。

【出席報告】 橋詰 希望 委員

	会員数	出席	M・U	欠席	出席率
本日 11月26日	25	23	事前1名	2	91.30%
前々回 11月12日	25	20	事後1名	5	87.50%

次週のプログラム:クラブ協議会・年次総会 / 次々週のプログラム:クリスマス家族夜間例会

【本日のプログラム】 ガイドよもやま話

【講師】 佐藤美代子様 (小諸観光ガイド協会)



小諸観光ガイド協会の第1期生としてガイドを始めてほぼ18年になりました。

ガイド協会初代会長の太塚直久さんは、小諸の活性化の為にガイド協会の設立を思い立ち、同じ思いの仲間と共に実現して下さいました。太塚酒造の後継者としての大切な立場にありながら、その仕事よりもガイド協会の設立への思いの方が重かったようです。

何も知らない私達に、小諸の歴史やお城の事など、隔週水曜日1年位、資料をプリントして講義もして下さいました。お陰さまで今、私達はこうしてガイドをして皆様に喜んでいただいています。これもひとえにガイド協会が設立されたからだと感謝の

気持ちでいっぱいです。

観光バスで懐古園に来たお客様をガイドしてバスをお見送りします。バスに乗る時「ありがとう、楽しかった」と言って下さいます。拙いガイドなのでこちらの方が有難いと思うのですが、うれしい言葉です。

今日ここで戴いた時間内でどのような話をしたらよいか迷ったのですが、実際のガイドの様子をお話してみたいと思います。ご一緒に懐古園の散策をお願いします。イメージしながらお付き合いください。

好天気ならば「良くいらっしゃいました。普段心がけの良い皆さんを迎えるためにお天気が気持ち良く迎えてくれました」と気持ちをほぐして出発します。

ツアーバスの場合、殆んど、旅の途中に、トイレタイムの形で懐古園に寄り1時間コースでガイドを組みます。時間があれば2時間コースならば重要文化財に指定されている400年の歴史を持つ大手門を是非見て頂きたいのですが残念です。「今度2時間コースできて下さい」と申し上げると「わかった」と言って下さいます。* 先ず三の門の正面です。徳川家達公の題額が見事です。門は寛保の大洪水で流されて建て替えたので、250年前の門です。

* 時間に余裕があれば大手門に行きます。1612年に仙石秀久が建てた木造瓦門、本来は小諸城の表門です。寛保の大洪水でも流されなかった400年前の門です。平成3年まで個人の所有でしたが小諸市に移管されて、平成5年、三の門と共に国重要文化財に指定され、旧材を活かして、修復しました。

* 木村熊二のレリーフです。小諸義塾塾長。東京で藤村と知り合い、小諸によびました。

後に、内村鑑三が弔辞で「木村熊二が中央に出ていたら、文部大臣になっていただろう」と言わしめました。

* 二の丸跡。関ヶ原の合戦に向う徳川秀忠が滞在しました。豊臣方に付いた真田昌幸に降伏するように勧めたが、「数日の猶予を欲しい」と言われ、待ったが、「お陰さまで戦う準備が出来ました」の返事。秀忠はこれを攻めたが大敗し、海応院の仲介で和議、遅ればせながら関ヶ原に向った。

* 番所跡。東宮駐駕の処の碑。大正12年8月22日、何と関東大震災の10日前でした。

* 鶯石。南丸西側にあり、壁面に鶯の姿が見える大きい石です。

* 紅葉橋。別名、算盤橋。人工の横掘に架けた橋です。

* 本丸。勘介愛用の鏡石。

* 天守台。石垣は当時の姿で残されています。

* 藤村記念館。小諸時代の藤村ゆかりの品々が展示されています。

* 藤村碑。企画が有島生馬、鑄造が高村豊周で『千曲川旅情のうた』の詩碑が昭和2年に完成しました。パネルの製作費(700円)より、大きな台石を運搬する方が190円も高い費用(890円)が掛かったと言います。

* 水の手展望台。眼下に千曲川の清流が望めます。

ガイド協会は、賛助会員様の温かい援助の手によって支えられています。